

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	相賀 (相賀)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	56.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	53.4 ha
② 田の面積	28.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	27.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域は、基盤整備済の農地を中心として水田では主に主食用水稻が栽培され、畑は施設又は露地による花や野菜等が栽培されている。

農業者の平均年齢が70歳を超えている状況であり、現在の農地利用者の多くが規模縮小の意向にもかかわらず、農業の後継者は2件程度しかおらず、将来的に現在の耕作者が離農されれば遊休化・荒廃化が進む懸念がある。

基盤整備から数十年が経過して水路等施設の老朽化が進んでおり、イノシシ等の増加によって地盤が軟弱になっていることもあって、災害への懸念や維持管理に多大な労力を要し、農業者の耕作継続意欲が削がれている状況にある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻や野菜等の生産は現在の方式により現農地利用者が引き続き耕作していくことが基本となるが、高齢のためいつ離農してもおかしくない状況であり、地区内に後継となる担い手が少ないため、地区外からの耕作希望者の受け入れを進めていく必要がある。

また、農地の耕作条件整備や担い手確保、農地の貸借条件の整理など、将来の地域農業を総合的に考えた取組をおこなっていく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1	%	将来の目標とする集積率
			2 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
耕作者個人による利用調整を図り遊休化・荒廃化の防止に努めることとし、現在のところ地域ぐるみでの利用調整や集積、集約は行わない。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現時点では地区としての方針は定めず、活用は各個人の検討・判断とする。
(3)基盤整備事業への取組
耕作条件が良いとは言えない農地が多いため、耕作利便等に配慮した農地等の総合的な基盤整備を検討する。維持管理に関しては、多面的機能支払事業を継続していくよう努める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地区内の農業者は高齢で後継者もいないため、地区内の農地地権者・耕作者の意向に配慮しつつ、関係機関と連携しながら、新規就農希望者や法人等の参入など地区外を含めた担い手の受け入れ体制を構築し、農地の利用集積・調整を図っていくことで担い手が安定的に農業経営が続けられるよう取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
水田において、各個人の判断で(有)唐津地区農作業受託センターや機械利用組合への一部作業受委託がなされており、今後もこの形の活用を継続していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域として水田の防護柵の適切な管理を継続して棲み分け対策を講じるとともに、駆除に関して地区内に駆除員が不在で他地区の資格保有者に駆除してもらっている状況であり、駆除の強化について検討していく。
⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、生産組合の会議を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻 果樹 野菜	0.8 ha	0 ha	水稻	0.9 ha	0 ha	1	
利用者			1.7 ha	0 ha	水稻 花き	1.7 ha	0 ha	2	
利用者		水稻 麦	0.6 ha	0 ha	水稻	1.3 ha	0 ha	3	
利用者		水稻 飼料作物 野菜	1.4 ha	0 ha	水稻	0.6 ha	0 ha	4	
利用者		水稻	0.6 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	5	
利用者			0.9 ha	0 ha	水稻 花き	0.4 ha	0 ha	6	
利用者			0.7 ha	0 ha	水稻 果樹	0.4 ha	0 ha	7	
利用者			0.6 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	8	
利用者			0.7 ha	0 ha		0.4 ha	0 ha	9	
利用者			ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	10	
利用者		水稻 花き	ha	0 ha	水稻 花き	0.3 ha	0 ha	11	
利用者			0.9 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	12	
利用者		水稻 野菜	ha	0 ha	水稻 野菜	0.3 ha	0 ha	13	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	14	
利用者			ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	15	
利用者		野菜	0.3 ha	0 ha	野菜	0.3 ha	0 ha	16	
利用者			ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	17	
利用者		水稻 野菜 果樹	0.2 ha	0 ha	水稻 野菜 果樹	0.2 ha	0 ha	18	
利用者		水稻	1 ha	0 ha	水稻	0.2 ha	0 ha	19	
利用者			ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	20	
利用者			ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	21	
利用者		水稻 野菜 果樹	0.9 ha	0 ha	水稻 野菜 果樹	0.1 ha	0 ha	22	
利用者			ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	23	
利用者			ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	24	
利用者			ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	25	
利用者		水稻 花き	0.5 ha	0 ha	水稻 花き	0.1 ha	0 ha	26	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	27	
利用者		水稻	1 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	28	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	29	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			13.3 ha	0 ha		10.3 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。